

第10回 法人会全国女性フォーラム福岡大会の報告

平成27年4月16日(木)に第10回法人会全国女性フォーラム福岡大会が福岡市で開催され、全国から女性部会員を中心に1700名以上の方が参加されました。徳島法人会からも、女性部役員の4名が参加しました。

第1部の記念講演では、「女性がつくる日本・地域の元気」という演題で日本総合研究所主任研究員の藻谷浩介(もたに こうすけ)氏の講演がおこなわれ、少子化について、保育所問題について等女性に関係する項目において、現在の社会情勢を踏まえ、これからの日本経済や地域社会にとって女性の重要性について、とても分かりやすく聞くことができました。

第2部の大会式典では、主催者挨拶、来賓祝辞に続いて各法人会の活動報告が①花いっぱい運動 ②若年層の音楽コンクール ③税に関する標語コンクール優秀作品の看板塔に表示制作設置 ④租税教室の開催など数々の事例をもとに、スクリーンにより発表がありました。それぞれ工夫され活躍されている所が映し出されており、参加者は熱心に聞かれており、徳島法人会の今後の取り組みにおいても大変参考になりました。

また、会場においては物産展が行われ福岡県下の物産が数多く出店され地域のPRに一役かかっていました。展示コーナーでは、全国から寄せられた「税に関する絵はがきコンクール」の優秀作品の展示があり、租税教育活動の事業の一環として行われているものであり、各会員の人達は関心を持って閲覧していました。

以上のような福岡大会の開催を踏まえ下記のような取組を行いました。

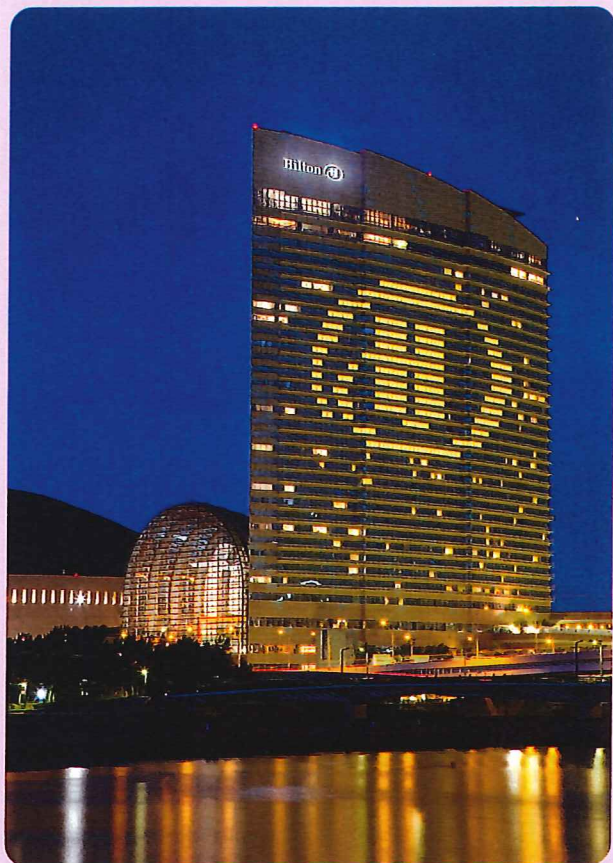
・女性部会役員会での報告会と今後の取り組み

出席した会員より福岡大会での各法人会の活動状況を報告し、感想を述べ意見交換を行いました。女性部会の活動の柱である「いちごプロジェクト」は進め方を工夫し、ノウハウを一層充実させ実のあるプロジェクトを目指すことを決意しました。「税に関する絵はがきコンクール」においては、各小学校への情宣の強化を図り、より多くの小学生への参加を呼び掛けることにより税に関しての関心をより深めていってもらうことで一致しました。小学生の「租税教室」においては、今後講師養成を行ない女性部も積極的に参加する方向を目指していきます。今後も他の法人会の活動の良いところを吸収し、より良い活動を目指していきたいと思えます。

今後とも多くの方々のご協力ご支援をお願いいたします。

平成26年度における徳島法人会女性部会の主な活動報告

- 1) 阿波踊りで節電うちわ配付 平成26年8月14日
節電対策「いちごプロジェクト」(家庭における使用電力の15%節減運動)への取組みとして、阿波おどり演舞場付近で節電うちわを配布し、広く節電をPRしました。
- 2) 租税教育活動 絵はがきコンクールの開催 平成26年6月～平成27年2月
小学生の税への関心を高めるため徳島税務署管内56小学校の6年生へ募集を行い、16校410名の応募作品の中から、女性部会が中心となって入賞作品20点を決定しました。「小学生の税に関する作品集」を900部作成し、3月に学校訪問を行い入賞者へ記念品と共に進呈しました。
- 3) 租税教育活動 小学生の税についての作文募集 平成26年6月～11月
租税教育の一環として、作文を通じ児童に税の意義や役割を正しく理解してもらうために実施。徳島税務署管内56小学校の生徒を対象に「税」をテーマに作文を募集、37校から259編の応募があり、入賞作品8点を決定しました。また「小学生の税に関する作品集」を900部刊行し、各小学校・官公庁に配布しました。特選作品2名は、平成27年度の第4回通常総会・研修会において朗読され、納税についての理解と意識啓発の機会を提供します。
- 4) 吉野川清掃ボランティアへの参加 平成26年4月5日、11月15日
貴重な吉野川の清流を後世まで長く維持するために、年間3回清掃活動を実施しています。女性部会は中心メンバーとして毎回参加し、美化への意識啓発を積極的に行っています。本年度は約300名の参加がありました。
- 5) 児童ホームへの慰問活動 平成26年12月22日
女性部会員3名が徳島児童ホーム(徳島市川内町)を訪問し、タオルや文房具、お菓子などの粗品をお渡しし、園児たちと交流を図りました。



ヒルトン福岡シーホーク


九州最大の都市である福岡のランドマークに位置する地上35階、客室1,053室のアイコン的インターナショナルホテル、それがヒルトン福岡シーホークです。ヒルトン福岡シーホークは遊びもグルメもショッピングもいろいろなワガママにお応えする、福岡・博多を満喫できる絶好の拠点です。



第10回 法人会全国女性フォーラム

福岡大会

日程 平成27年4月16日(木)

会場  **Hilton** ヒルトン福岡
FUKUOKA SEA HAWK シーホーク



ひくおが官兵衛くん

主催 公益財団法人 全国法人会総連合
全国法人会総連合女性部会連絡協議会

主管 一般社団法人 福岡県法人会連合会
福岡県法人会連合会女性部会連絡協議会





大会キャッチフレーズ

アジアの息吹き体感し、 女性の和を拡げよう!

～次代を担う子供のために女性の力発揮して～

北部九州は、古来、東アジアの玄関口として交易を通じて発展して来ましたが、現在においてはさらにアジア諸国から観光客や留学生が多く訪れて、活気あふれる街中の雰囲気を実感していただけです。福岡を起点として、アジアと九州各地の交流も深まっております。法人会女性部会はそのパイプ役としてそれぞれの地域での連携を呼びかけていきます。また、これからの日本を支える子供達が健全に育つことを願って、社会貢献活動を通じた女性部会のアピールを行います。

大会内容 〈メイン会場 1F アルゴス〉

- 12:00～ 受付
- 14:00～15:10 第1部 記念講演
講師 日本総研主席研究員
もたに こうすけ
藻谷 浩介 氏
- 15:30～16:45 第2部 式典
- 17:50～19:00 第3部 懇親会

休憩コーナー・物産展

- 12:00～20:00 休憩コーナー 〈1F ナビス〉
- 12:00～20:00 福岡県物産販売コーナー〈1F ナビス・ロビー〉

展示コーナー〈1F ロビー〉

福岡県内法人会活動報告・パネル展示
税に関する絵はがきコンクール作品展示
税制改正提言に関する活動・パネル展示

女性部会スローガン

わたしたち法人会女性部会は
法人会組織の一員として
研修、交流を通じた部会員の資質向上と
社会への貢献をめざす
法人会活動の充実に努めます。





公益財団法人 全国法人会総連合

会長 池田 弘一

「第10回法人会全国女性フォーラム」福岡大会の開催に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

この「女性フォーラム」は、全国の法人会女性部会員の資質向上と情報の共有化による部会活動の活性化を目的として、平成18年に始まりました。

本日、福岡の地において第10回大会を盛大に開催できますことは、全法連女性部会連絡協議会および福岡県女性部会連絡協議会をはじめ、全国の女性部会の皆さんの献身的なご尽力と、開催地福岡県連の温かいご支援によるものであると、深く敬意を表する次第であります。

さて、私ども法人会は、申告納税制度の維持、発展に寄与する団体として、これまで国税当局との連携のもと税知識の普及、納税意識の高揚、租税教育の実施といった活動のほか、我が国の将来を見据えた税制の提言や地域に密着した幅広い社会貢献活動など国家と社会に役立つ様々な活動を展開してきたところで。

こうした中、女性部会の皆様には、将来を担う学童に対する租税教育の一環として「税に関する絵はがきコンクール」に積極的に取り組んでいただいております。平成24年度からは、国税庁のご後援もいただき、毎年実施会は増加しておりますが、今後もさらなる充実を図っていただきたいと思います。

また、各地域で地域の実情に合わせた社会貢献活動に積極的な取り組みをいただいております。こうした事業は法人会活動の基本であり、今後とも皆様方のご協力により、一層充実を図っていきたくと考えております。

法人会は、新公益法人制度のもと、これまで半世紀以上にわたり積み上げてきたその活動の歴史と誇りを踏まえ、これまで以上に公益性の高い事業活動を推進し、地域社会に貢献して参る所存であります。

女性部会の皆様方におかれましても、その趣旨をご理解いただき、尚一層のご尽力を賜りますよう、心からお願い申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。



一般社団法人 福岡県法人会連合会

会長 谷 正明

本日、国税ご当局をはじめ、多くのご来賓のご出席を賜り、全国各地から約1,700名の女性部会員の皆様をお迎えし、第10回「法人会女性フォーラム(福岡大会)」が盛大に開催されますことは、本大会を主管いたします私どもにとってこの上ない喜びであり、心から歓迎申し上げます。また、本大会の開催にあたりご支援ご協力をいただきました関係の皆様へ深く感謝申し上げます。

さて、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催決定は、私どもにとって大変明るい話題でありましたが、日本経済も、安倍内閣の積極的な経済政策により、景気回復に向けた明るい動きも出てきております。今後、このアベノミクスが着実に成果を上げ、日本経済がデフレからの脱却を確実にし、経済再生へのしっかりとした道筋が示されることを大いに期待するものであります。

古来より福岡県は、大陸からの玄関口として交易を通して発展し、時代時代多くの先端文化を取り入れ、我が国文化の発展に寄与してきました。現在、福岡県を中心とした北部九州地域は、自動車生産で世界でも有数の拠点となっております。また、福岡市は、アジア各地と空と海で結ばれた日本の玄関口として、空港や博多駅(新幹線)から都心部まで地下鉄により約10分で行くことができるコンパクトシティとして、また、国からの国家戦略特区の指定都市として、益々これからの発展が期待されています。

博多どんたく、博多祇園山笠に代表されるお祭りや新鮮な素材を活かした豊かな食文化をご堪能いただき、今回のキャッチフレーズ「アジアの息吹き体感し、女性の和を届けよう!」のとおり福岡・博多の地からアジアの活力を取り込みながら、女性部会の力強いメッセージを発信していただき、福岡大会が有意義な大会となりますことを祈念いたします。

最後に今後の女性部会の更なるご発展と、本日まで出席の皆様のご健勝をお祈り申し上げます、歓迎のご挨拶とさせていただきます。



全法連女性部会連絡協議会

会長 政所 正枝

「法人会全国女性フォーラム」福岡大会を開催するに当たり、一言で挨拶を申し上げます。

本日、第10回全国女性フォーラムを、ここ福岡県福岡市で盛大に開催できますことは大変な喜びであります。これも福岡県連並びに福岡県連女性部会連絡協議会の皆様をはじめ、本日お集まりの皆様方の多大なるご尽力のお陰と深く感謝申し上げます次第です。

さて、私たち全法連女性部会連絡協議会は、平成16年9月の発足以来、法人会組織の充実・活性化への寄与に努めながら、税の啓発活動や、地域社会への貢献活動に取り組んで参りました。女性経営者として自己啓発による資質向上を図るとともに多様化する法人会活動の担い手として大きな役割を果たしてきたと考えます。

こうした中、女性部会独自の取り組みである「税に関する絵はがきコンクール」につきましては、平成24年度より国税庁のご後援をいただき、着実に全国的なひろがりを見せております。今や女性部会の活動における大きな柱の1つとして定着しており、皆さまのご努力に対してまして、ここにあらためて御礼を申し上げます次第です。

また、節電啓発活動である「いちごプロジェクト」につきましても全国各地の女性部会で地域の実情に応じた様々な取り組みをしていただいております。

法人会は、新たな公益法人制度の下、より公益性の高い活動を求められており、私たち女性部会も法人会組織の一員として、更なる活動の充実を目指していく必要があると感じております。

本日は、全国から多くの女性部会の皆様が集まる貴重な機会です。是非とも活発に情報交換と親睦を図り、それぞれの会における今後の法人会活動に大いに参考にして頂きたいと思っております。

最後になりましたが、本日の大会が、充実した大会となりますよう、皆様のご協力をお願いしますとともに、ご出席の皆様方のご健勝を心よりご祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



福岡県連女性部会連絡協議会

会長 濱田 光江

第10回「法人会全国女性フォーラム」が私ども福岡県で開催され、全国からたくさんの方々の女性部会員の皆様をお迎えできますこと大変光栄に思います。皆様のお越しを心より歓迎申し上げますとともに開催にあたり国税ご当局、福岡県、福岡市、全法連並びに女性部会連絡協議会、福岡県連など関係各位の皆様にも多大なるご支援を賜りましたこと、福岡県下女性部会の会員を代表して厚く御礼申し上げます。

2014年の大河ドラマ「軍師官兵衛」をご覧になった方も多いと思いますが、黒田官兵衛(如水)は、福岡藩の藩祖と言われております。豊臣秀吉の九州平定の軍監として兵を率いて福岡の地に降り立ち、その後、秀吉の命により、荒廃した博多(現・福岡市)の復興に携わり、福岡城の築城を開始、完成までは太宰府天満宮(太宰府市)の庵で隠居生活を送ります。1604年に死去し福岡市の崇福寺に葬られるまで晩年を福岡で過ごしました。天下人に愛され、恐れられた男、官兵衛は、その類まれな知略と先見性で戦国の世を駆け抜け、戦乱の世にあつて「戦わずして勝つ」を実行した奇跡の名将といえます。私たちも、彼の英知にあやかり、時代を担う子供たちのために、地域に貢献するために、女性部会の連携を深め、日々知恵を出し合っております。

福岡はアジアを中心とした海外16都市へ直行便が飛んでおり、「アジアの玄関口」と言われています。年々アジア諸国からの観光客が増加しており、アジアのパワーを感じています。今回のキャッチフレーズ「アジアの息吹き体感し、女性の和を拡げよう!」はここ福岡でアジアの活力を感じていただくとともに、全国の女性部会の皆様の交流が深まりより一層の団結がはかられアジア諸国に負けない活力が生まれることを祈念して掲げております。

本日が皆様にとって有意義な大会となり、皆様に福岡のパワーをお持ち帰り頂きますよう心よりおもてなしさせていただきます。

講演テーマ

女性がつくる日本・地域の元気 ～未来を担う子供たちへ～



講師

藻谷 浩介

(もたに こうすけ)

- 株式会社日本総合研究所
調査部 主席研究員
- 株式会社日本政策投資銀行
地域企画部 特任顧問
- 特定非営利活動法人
ComPus地域経営支援ネットワーク 理事長

1964年6月18日、山口県周南市(旧徳山市)出身。
1983年に山口県立徳山高校理数科卒業後、東京大学文科I類に入学。
1988年に同校法学部私法コースを卒業。
1994年米国NY市コロンビア大学経営大学院(ビジネススクール)を卒業し経営学修士(=MBA)を取得。

平成合併前3,200市町村のすべて、海外59ヶ国をほぼ私費で訪問し、地域特性を多面的に把握。日本開発銀行、米国コロンビア大学ビジネススクール留学、日本経済研究所などを経ながら、地域振興や人口成熟問題に関し精力的に研究・著作・講演を行う。

2012年より現職。近著に「デフレの正体」(単著50万部、新書大賞2位、ベスト経済書3位)、第七回新書大賞を受賞した「里山資本主義」(共著24万部、新書大賞1位、ベスト経済書9位)[共角川Oneテーマ21]、「金融緩和の罫」(集英社新書)など数々の著書を持つ山口県生まれの50歳。

今回の福岡大会では、人口の高齢化、現役世代の減少に伴う内部需要の減少によって長期的に景気が低迷している事実を背景に、これからの日本の経済や地域社会にとって重要になる女性の力を積極的に生かしていくためのヒントを提言。

6

- 1:開会
- 2:国歌斉唱
- 3:歓迎の言葉
- 4:スローガン唱和
- 5:来賓紹介
- 6:主催者挨拶
- 7:来賓祝辞
- 8:活動事例報告
- 9:大会宣言
- 10:大会旗伝達
- 11:次回開催地県連挨拶
- 12:閉会の言葉
- 13:閉会

- 1:開宴の案内
- 2:祝舞
- 3:開宴の挨拶
- 4:乾杯
- 5:アトラクション
- 6:次回開催地アトラクション
- 7:フィナーレ
- 8:御礼(閉宴の挨拶)
- 9:閉宴の案内



7

大会宣言

豊かで美しい自然に恵まれ、長い歴史の中で優れた伝統と文化がはぐくまれてきた、ここ福岡県福岡市において、私たちは第10回法人会全国女性フォーラムを開催することができました。

私たち女性部会は、税を中心として社会に貢献する法人会の一員として、租税教育など税の啓発活動や社会貢献活動に日々積極的に取り組んでまいりました。

特に小学生に対する租税教育活動である「税に関する絵はがきコンクール」は、年々着実にその実績を積み上げ、今や各地域の租税教育活動として定着し、子供たちの健全な育成に貢献しております。

一方、私たちを取り巻く社会環境は、少子高齢化の進展、環境問題などの課題が山積しており、将来に対する不安は大きなものがあります。

福岡は、九州と本州を結ぶ交通の要衝であるとともに、古くから大陸との交流の窓口として発展を遂げてきました。

アジアの息吹き体感し、女性の和を拡げよう！

～次代を担う子供のために 女性の力発揮して～

私たち女性部会も互いに交流を深め、手を取り合い、法人会活動を通じて更に社会に貢献し、日本のより良い未来を切り拓いていこうではありませんか。

ここ福岡の地において、揺るぎない決意とともに、以上、宣言いたします。

平成27年4月16日

法人会全国女性フォーラム 福岡大会

ご来賓

官公庁

国税庁課税部長	藤田博一様
国税庁法人課税課長	脇本利紀様
福岡国税局長	中尾睦様
福岡国税局課税第二部長	内田政弘様
福岡国税局課税第二部法人課税課長	上川一臣様
福岡税務署長	手島久隆様
福岡県知事	小川洋様
福岡市長	高島宗一郎様

友誼団体

九州北部税理士会 会長	松原弘明様
福岡国税局間税会連合会 会長	中川原潔様
福岡国税局管内納税貯蓄組合連合会 会長	坂本文比古様
北部九州青色申告会連合会 会長	梅原祐治様

厚生事業協力会社

大同生命保険株式会社 執行役員 業務本部長	紙谷典孝様
AIU損害保険株式会社 執行役員	成清博英様
アフラック 執行役員 提携事業推進部長	堀内正紀様